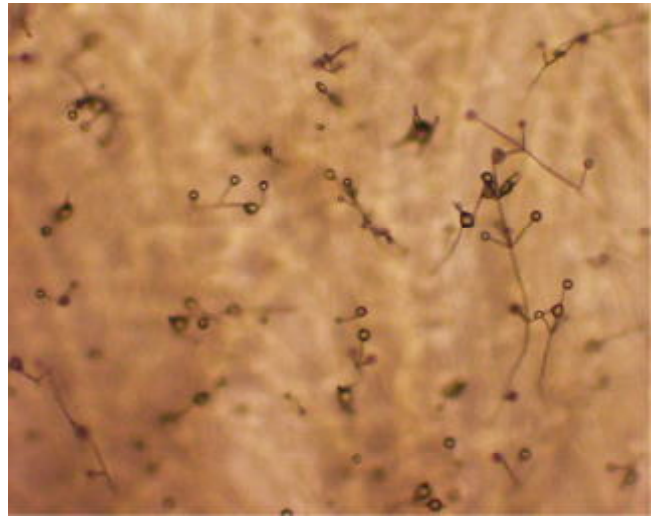


作物名：キク

病害虫名：半身萎凋病（病原：*Verticillium dahliae* Klebahn）



被害株



分生子柄と分生子

#### 1 被害の特徴と診断のポイント

- ・はじめ下位葉の葉身片側や先端に黄色～褐色の病斑を生じ，病勢が進むと葉は萎凋・枯死し，下位葉から上位葉に病勢進展する。病勢が激しいと株全体が萎凋し，枯死する場合もある。

#### 2 伝染源及び伝染方法

- ・罹病植物において微少な菌核をつくり，土壤中に存在する。
- ・菌核が発芽し，根から植物体に侵入する。
- ・*Verticillium* 属菌は菌核の状態では土壤中に 10 年以上生存することが知られている。
- ・罹病株からの挿し穂によっても伝染する。

#### 3 発病・伝染好適条件

- ・生育適温は 20 ～ 25 である。

#### 4 防除方法

- ・菌核が長期間土壤中に存在するので，数年単位の輪作では防除効果は期待できない。
- ・常発地では植え付け前に土壤消毒を行う。
- ・罹病株は根ごと抜き，ほ場外に持ち出して適切に処分する。
- ・増殖には健全株を用いる。

#### 5 出典

- (1) 参考文献：日本植物病害大事典(全国農村教育協会)
- (2) 写真：宮城県病害虫防除所撮影